



ロータリー：
変化をもたらす

ARIDA 2000

No. 823

Club Bulletin

17-18年度 RIテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」

会長 大浦輝彦
幹事 辻本正成
クラブ会報委員長 南 良暢

会員増強・拡大月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00

事務局・例会場/〒643-0025 有田郡有田川町土生409
吉備インターゴルフセンター

TEL (0737) 52-8960 / FAX (0737) 22-6800

E-mail/arida2kr@star.ocn.ne.jp

URL/http://arida2000rotary.club/

創立年月日/2000年 4月12日

本日のプログラム

平成29年8月30日第824回

ソング「それでこそロータリー」

会長の時間 幹事報告 委員会報告

ニコニコ箱報告 出席報告

卓話：糸我小学校 校長

和田 啓次郎 先生

次回のプログラム

9月 6日 地区会員増強委員会

13日 地区クラブ奉仕委員長

矢倉 甚兵衛様

20日 地区情報規定委員長

北岡 満様

前回の報告（第823例会）

開催日 平成29年8月23日（水）

点鐘 大浦会長

ソング「君が代」「奉仕の理想」

ゲスト ガバナー 岡本 浩様（和歌山城南RC）
ガバナー補佐 大原 裕様（有田南RC）



会長の時間 ● 大浦 輝彦会長

皆さんこんばんは、本日もご出席ありがとうございます。

岡本ガバナー様、大原ガバナー補佐様、本日はお越し下さいましてありがとうございます。

お盆も終わりましたが、毎日暑い日が続いています。

皆様体調管理はいかがでしょう？

最近、局地的な大雨が多く降ります、私は仕事柄、列車遅れのメールが届くと電話が鳴らないか



ビクビクしています。今年は2箇所呼び出しがありました、どちらも大きな災害でなく、その日のうちに復旧できましてほっとしましたが、橋梁が流された場合等、根本的な復旧工事が必要な場合を除いて、復旧作業は列車が運行できるまで、昼夜を明かして開通までの間、休むことなく行われますので機材や人員の確保等大変な事があります。

日本の鉄道に関する記事がありましたので紹介させていただきます。日本の鉄道運行はなぜ正確なのか？日本に来た外国人の多くが異口同音にびっくりし、怖ろしいとさえ感じさせる程、正確な運行管理であります。JR東日本の統計では、一列車あたりの遅れは新幹線が平均0.3分、在来線が平均1.0分であるそうです。（新幹線95%、在来線85%は時刻表通り発車）工夫の一つとして、一日に217本の列車を発着させる、東京駅の東北・上越新幹線ホームは、これだけ過密スケジュールになると、帰省時の混雑時、後続電車待ちの乗客をホームに収容する事が出来ません。そこで考えられたのが、電車毎に指定席・自由席の配列を変え、ホームに並ぶ乗客の位置を分散させているそうです。（緻密な計算が必要と思われます）一般に発売されている列車時刻表は分刻みですが、鉄道会社員が持つ「運行表」は5秒刻みであります。）海外から来て、日本で列車が5分遅れただけで「遅延証明書」が出る事が信じられないそうです。

時刻に拘るようになったきっかけが、「お召し列車」の存在であるそうです。陛下がご乗車にな

るお召し列車の運行は、余程の熟練した人でないとダイヤが組めないそうで、「お召し列車の運行」には絶対に守らなければならない「三大原則」があるそうです。

1：お召列車と並行して走ってはいけない。
 2：お召列車を追い越してはいけない。
 3：お召列車の上を走ってはいけない。
 この三つを徹底して守りながら、かつ、通常列車の運行も止めない。そんな 離れ業 を実行するためには、緻密な計算されたダイヤ作成が必要に成ってくると言うことです。日本に「皇室があるからこんなダイヤが作れるのなら、どうして他の王国では作れなかったのか」と考えたとき。経済力等の要因も有りますが、少し違っているようです。

他の王国や帝国に、こんな「三大原則」があったとしても、他の国ではおそらく、「お召列車」を優先するためなら、他の列車は躊躇なく止めると思います。全部を止めないにしても、幾らかは努力して、「その列車止めろ！」で済ますと思います。日本では「お召列車」も「一般の列車」も平等に、絶対に支障が出ないようにダイヤを組む努力をしたので有ると思います。他の国では恐らく、「できない」以前に、「やる必要を感じない」というのが正直なところだと思います。「必要を感じない」から「やらない」だから「出来なかった」のであって、対する日本では、「必要を感じた」から「やろうとした」だから「出来た」のだと思います。

私たち、ロータリー奉仕活動も「必要を感じない」から「やらなかった」だから「出来なかった」のではなく、「必要を感じた」から「やろうとした」だから「出来た」と結果が出る素晴らしい活動をしていきたいと思ひます。

本日は岡本ガバナー様に公式訪問いただきました。ガバナーのクラブ公式訪問はR Iが定めているガバナーの重要な任務の一つで、その目的は4項目であります。

- ① ロータリーの主要問題に焦点を当て関心をもたせる
- ② 弱体および問題のあるクラブに特別な関心を払う
- ③ ロータリアンの意欲をかきたて奉仕活動に参加させる
- ④ 顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する

又、ガバナー補佐制度が導入され、クラブ訪問が行われることで、各クラブの運営と活動に対する地区からの支援体制がより一層強化されています。本日は岡本ガバナー様、大原ガバナー補佐様よりしくお願いいたします。以上で会長の時間を終わります。ありがとうございました。

●幹事報告● 辻本正成君

- ◆例会変更（揭示）
- ◆有田RC卓話のご案内
- ◆地区大会記念ゴルフ大会 開催のご案内
- ◆地区大会のご案内
- ◆米山梅吉記念館 館報



●各委員会報告●

- ◆職業奉仕委員会（永石睦巳君）
四つのテスト唱和



●出席報告●

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	17名	16名	94.12%
8/2	17名	16名	94.12%

●ニコニコ箱報告●

大浦輝彦君：みなさんこんばんは。岡本ガバナー様、大原ガバナー補佐様、本日はようこそおいでくださいました。宜しくお願い致します。

辻本正成君：ガバナー公式訪問よろしくお祈いします。

南 良暢君：岡本ガバナー、大原ガバナー補佐様、本日宜しくお願い致します。

永石睦巳君：岡本様、本日は宜しくお願い致します。

前任君：2640地区ガバナー岡本様、ガバナー補佐大原様、お忙しい中有難うございます。

樋口 明君：岡本ガバナー様、大原ガバナー補佐様本日ようこそおいでくださいました。宜しくお願い致します。

上野祥弘君：ガバナー岡本様、本日公式訪問有難うございます。

宮崎晴雄君：岡本ガバナー様、大原ガバナー補佐様、ようこそお越しくださいました。宜しくお願い致します。

川島信治君：岡本ガバナー様、大原ガバナー補佐様本日ようこそおいでいただき有難うございます。

下林善信君：岡本ガバナー本日はよろしく。
 寺村公博君：岡本ガバナー様、大原ガバナー補佐様本日ようこそおいでくださいました。宜しく願い致します。
 平松一彦君：岡本ガバナー様お忙しい中、公式訪問有難うございます。
 吉水志朗君：岡本ガバナー、大原ガバナー補佐、本日は有難うございます。
 佐藤栄志君：ガバナー岡本様、本日はお世話になります。
 上田益稔君：ガバナー岡本様、ガバナー補佐大原様、本日はお越し頂き有難うございます。

●ガバナーアドレス●

2017-2016年度2640地区ガバナー 岡本 浩様
 (和歌山城南RC)

こんにちは。2017-2018年度ガバナーの岡本浩です。本日は公式訪問の機会を設定いただき、ありがとうございます。



さて、今年度ガバナーとして何を指すかについて、述べさせていただきます。

先ず、今年のR I会長テーマは、「変化をもたらす」です。これは、ロータリーの活動により、社会への良い変化をもたらす活動を追求しようということと解されます。また、そのような活動により、ロータリー自体も変化をする、さらにはロータリーの会員自身にも良い変化をもたらそうということだと解されます。

次に、当地区の指針は、「ロータリーの原点を再確認し、2640地区の新たな飛躍を」とさせていただいています。これは、ロータリーとは何かをしっかりと再確認し、その基盤の上に地区をしっかりと構成し、さらに飛躍を目指そうということです。そのためには、月信第1号に「地区の基本的構造と各個の役割」として図示したような地区の有り方を追求することが大切です。そして、この図の中では、月信を地区・ガバナーと会員を結ぶ血管・血流と捉えていますが、紙媒体で配布される月信を地区情報を会員に伝える手段として重視していきたいと考えています。

それでは、このような地区組織の上に立って、目指すべきロータリー、言いかえればロータリーの原点とは何かについてを述べてみます。

それは、4つのテストに示される倫理・行動基準に則った職業奉仕の理念を追求する職業人の集まりがロータリークラブであり、そのような個人が例会に集うことで互いに刺激し合い学び合う場である例会を会員に提供することこそ、ロータリーの原点だということだと思います。したがって、ロータリーは、大人の学校と言えます。そし

て、学校であるロータリーへ皆が集うには、ロータリーは楽しく友情が育つ場である必要があります。

なお、職業奉仕とは何かを一言で言うなら、個々人の職域において、4つのテストに示される倫理を貫いた職業活動を行ない、その職業領域において、一番に尊敬される職業人を目指すということだと思います。例会を通じての互いの人格的成長・向上と、職業を超えての友情と信頼の形成こそ、ロータリーの真髄と言えます。

何か一つ、どこか一つ、参加した会員の記憶に残るような充実した例会になるよう努力し、その積み重ねにより会員の向上を図っていくようなロータリー活動を作っていきましょう。



●閉会点鐘●

有田RC9月の例会プログラム

- 7日（木）会員卓話「ロータリーの長期的発展に向けて～RI戦略計画の推進による公共イメージの向上～」 脇村重徳様
- 14日（木）外部卓話「ロータリーと私」 二神典子様（ロータリーの友事務所 前編集長）
- 21日（木）外部卓話「今、小学生が抱える問題」 栗生 千佳様（元和歌山県学童保育連絡協議会事務局長・現藤並学童クラブ代表）
- 28日（木）ガバナー公式訪問

有田南RC9月の例会プログラム

- 5日（火）クラブフォーラム 坊岡 進様
- 12日（火）会員卓話 杣野としゑ様・長崎靖彦様
- 19日（火）ガバナー公式訪問
- 26日（火）外部卓話 重田真成様（重田工芸紙業 株）